

Anime, translation, and mistranslation

皆さま、はじめまして。
私はエヴェンと申します。
本日はアニメの翻訳について話したいと思います。

これは個人的な意見ですが、人々はだいたい原作になるべく近い翻訳が欲しいのではないのでしょうか。
そうは言っても、翻訳すると文を変えなければならない時があります。
そして文を変えたら、意味が変わってしまうかもしれません。

例の一つを見ましょう。
「虎穴に入らずんば虎子を得ず」と言うことわざは「リスクを冒さないと何も得られない」という意味です。
このことわざを直訳すると虎の子の話になってしまいます。
英語が話せる人は直訳の意味が理解できても、ちょっと不思議に思うのではないのでしょうか。
英語が話せる人には「nothing ventured, nothing gained」の方がもっと自然で、意味も同じだから、そう翻訳した方がいいと思いませんか？

ここにいらっしゃる皆さまは日本のアニメを見たことがあるでしょう。
しかし、英語に翻訳されたアニメは見たことがありますか？
そしてアニメは意図的に誤訳されたことをご存知ですか？
ある翻訳者は文の意味を変えて、自分の政治的な意見や個人的な信念をアニメに組み込まれたことがあったと言われていました。

例の一つとして「小林さんちのメイドラゴン」というアニメを見てみましょう。
このアニメでは女の人には自分の服について「いつも言われるから、露出度を抑えたんだ」と言いました。
翻訳者はその文を変えて「家長制度の厄介な社会的な要求に腹が立ったから、服を変えたんだ」という英語の文に変えてしまいました。
この2つの文の意味はけっこう離れているから、いい翻訳だと思いません。

ほかの言語に翻訳する時は意味を変えてしまうと、勘違いが出てくるかもしれません。
例えば、英語で「小林さんちのメイドラゴン」のアニメを見たら、先程の文章は作家自身が書いたと思われるでしょう。
最後に翻訳者として働いてみたければ、翻訳方法を色々学んで、できる限り原作に忠実に翻訳したほうが良いと思います。

ご清聴ありがとうございました。